

令和 5 年度

エ コ ア ク シ ョ ン 21

環境経営活動レポート



2023年4月～2024年3月

取組業者名 **株式会社早木工業**

作 成 者

加藤 江理子

発 行 日

2024年4月20日

目 次

1	環境レポート表紙	P	1/13
2	目次	P	2/13
3	事業活動の概要	P	3/13
4	環境方針	P	4/13
5	組織図	P	5/13
6	環境目標	P	6/13
7	環境活動計画の内容	P	7/13
8	環境活動の取組結果の評価	P	8/13
9	次年度の取組み内容	P	11/13
10	環境関連法規制への違反、訴訟等の有無	P	12/13
11	代表者による全体の評価と見直し	P	13/13

3 事業活動の概要

事業者名及び代表者名

株式会社 早木工業

代表取締役 早木 康満

所在地

〒933-0133 富山県高岡市太田4767

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

責任者：早木 雅人

連絡先： 0766-44-5500

担当者 環境事務局 : 加藤 江理子

連絡先： 同 上

事業内容

特定建設業 許可番号 富山県知事 許可 第7578号

土木工事、とび・土工、石工事、鋼構造物工事、舗装工事、
浚渫工事等

令和5年度の事業の規模

売上高 397百万円／年

受注件数 10件／年

従業員 17名

自己所有の有無

敷地面積（事業場） 1817.98 m² 内 961.00 m² 借地

事務所床面積 409.08 m² 内 276.86 m² 借地

倉庫床面積 409.08 m² 内 276.86 m² 借地

駐車場面積 1408.90 m² 内 551.92 m² 借地

資材置場 3636.00 m² 内 3138.00 m² 借地

事業組織

枠内：認証・登録対象組織

本社（事務所）

全 17名

環境経営方針

環境理念

当社の所在は海岸近くに位置し、青い海と緑豊かな二上山に囲まれています。この豊かな環境を維持し、守っていくことが当社の使命であると思っています。そのためには、建設工事の分野で環境対策を講じ、地域社会に貢献していくことが、今こそ必要であり施工品質の向上に努め、地球環境の保全に配慮して行動します。

環境行動指針

当社は、富山県の高岡市を中心とした公共事業による建設業を行っています。この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、従業員と協力し、EA21環境マネジメントシステムを構築運用し、継続的改善と汚染の予防に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量・削減の推進（自社における削減）
事業所及び建設現場内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。
☆ 事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油・ガスなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。
2. 廃棄物排出量削減の推進
☆ 事業所及び建設現場から出る廃棄物を最小限にするため、分別を推進します。
3. 総排水量削減の推進
☆ 事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。
4. 自らが施工・販売・提供する製品及びサービス
☆ 建設機械等の自主点検整備を実施し、機械油等の漏出の低減を推進します。
☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
5. 環境関連法規制等の遵守
☆ 環境関係法規制等を遵守することを誓約します。
6. 環境経営方針は全従業員に周知する。
☆ 全体会議等で周知します。

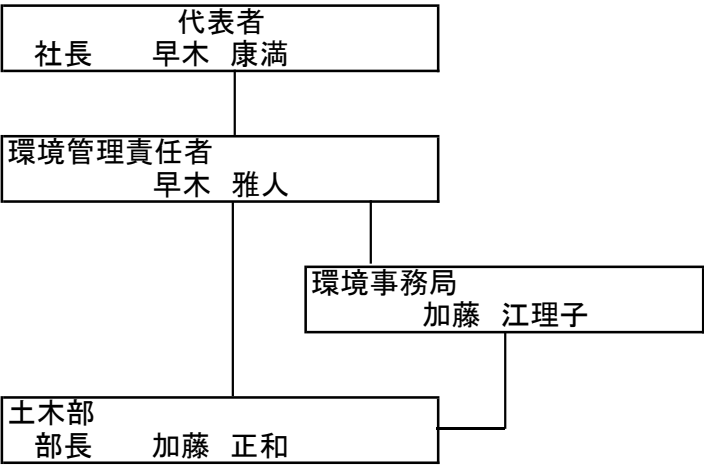
2011年10月28日 制定

2023年 8月 1日 改訂

株式会社 早木工業

代表者 早木 康満

更新日： 令和4年9月2日
株式会社早木工業 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・ 環境経営に関する総括責任 ・ 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間能技術者を用意 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・ 環境目標の設定を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 法規制等の要求事項登録簿を承認 ・ 環境活動実施計画書を承認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境活動レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・ 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・ 環境活動実施計画の実績集計 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
土木部長	・ 土木部における環境経営システムの実施 ・ 土木部における環境方針の周知 ・ 土木部の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 土木部に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 土木部の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・ 土木部の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ EA21について決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

6 環境目標

株式会社早木工業における2022年度の取組実績を2023年度取組時の目標値としました。2023年度の目標を下記の通り設定して環境活動に取り組みました。（目標値は基準年を参考に取組を把握するための参考値として捉えて活動を維持継続する）

方針	取組項目	年度（単位）	目標値 (前年 比)	2023年度
			(実績)	(目標)
事業所及び建設現場内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油・ガスなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。	二酸化炭素排出量の削減（原価単位）	CO2排出量(kg/百万円)	57,070.2	57,070.2
事業所及び建設現場から出る廃棄物を最小限にするため、分別を推進します。	分別及びリサイクルの推進	廃棄物のリサイクル率(%)	63.4	63.4
建設機械等の自主点検整備を実施し、機械油等の漏出の低減を推進します。	油等の漏出の防止	油等漏洩件数 ----- (件数以下/年)	0	2件以下
事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。	事業所利用水の節水	水使用量 (L)	75.0	75.0
環境活動の社会貢献を推進します。	環境に配慮した社会貢献の推進	社会貢献件数 ----- (件数以上/年)	12	10件以上
環境経営方針は全従業員に周知する。	全体会議等で周知します。	社会貢献件数 ----- (件数以上/年)	12	12件以上

※ 二酸化炭素排出係数は、『北陸電力 排出係数 0.499』を使用する。

- 1 電力使用量及び燃料使用量は、総量で管理する。
- 2 廃棄物排出量は、一般廃棄物及び産業廃棄物に対しての総排出量で管理する。
- 3 水使用量については、事務所における水使用量の削減について実施する。
- 4 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上ために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む

7 主要な環境活動計画の内容

方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門
事業所及び建設現場内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油・ガスなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。	電力消費量の削減	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃）	事務部 加藤江理子
	ガソリン消費量の削減	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ	土木部 加藤正和
	軽油消費量の削減		
	灯油消費量の削減	③ ストープの温度管理（冬季20℃±1℃）	
	ガス消費量の削減	① 使用前に水分をスポンジ等で除去する。	
事業所及び建設現場から出る廃棄物を最小限にするため、分別を推進します。	分別及びリサイクルの推進	廃棄物 ① 使用済みコピー用紙を再利用する。無駄な資機材を購入しない。 ② 発生する廃棄物を自治体ルールに準じ適正に分別する。 ③ 分別された廃棄物の2R推進活動を展開する。（廃品回収への協力や回収業者に持ち込む。） ④ 残余資材のリユース・リサイクルを徹底する。 ④ 建設廃棄物の分別及び再資源化を推進する。	事務部 加藤江理子
建設機械等の自主点検整備を実施し、機械油等の漏出の低減を推進します。	油等の漏出の防止	① 年次、月例、日常の点検を確実に実施して、不意の漏出を防止する。	土木部 加藤正和
事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。	事業所利用水の節水	① 水洗トイレの水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	事務部 加藤江理子
環境活動の社会貢献を推進します。	環境に配慮した社会貢献の推進	① 各受注現場につき1件の活動を計画、実施する。	土木部 加藤正和
環境経営方針は全従業員に周知する。	全体会議等で周知します。	① 全体会議等で周知する。	土木部 加藤正和

8 環境活動の実績と取組結果の評価

令和5年度（2023年4月～2024年3月まで）の運用実績について取りまとめました。

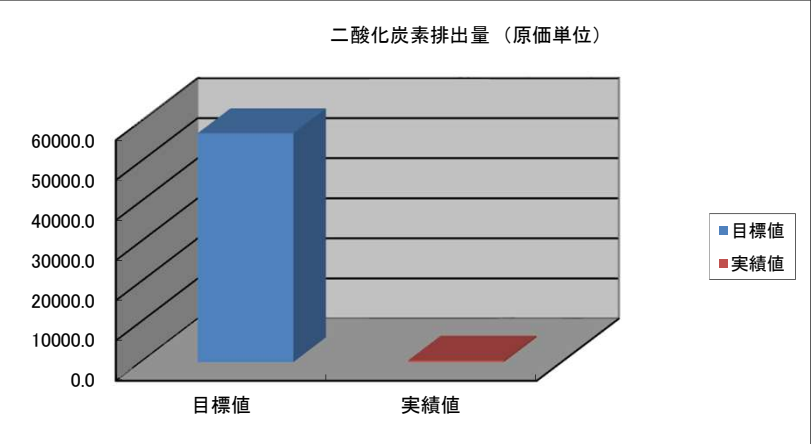
方針	取組項目（単位）		2023年	取組の評価
			（実績）	
事業所及び建設現場内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油・ガスなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。	二酸化炭素排出量の削減（原価単位）	売上高【A】（百万円）	397	節電には適切に取り組んでいる。太陽光の導入等の成果もあり、電力に由来する二酸化炭素排出量は大きく削減出来ている。化石燃料消費量の増加による二酸化炭素排出削減を検討していく必要がある。
		C02総排出量【B】（kg-CO ₂ ）	158,194.6	
		売上高当たりのC02総排出量（kg/百万円）	398.5	
事業所及び建設現場から出る廃棄物を最小限にするため、分別を推進します。	分別及びリサイクルの推進	廃棄物のリサイクル率（%）	92.3	適正に処分しているため問題なし。月別のリサイクル率は算出に手間がかかるため、今回は排出量を表記している。
建設機械等の自主点検整備を実施し、機械油等の漏出の低減を推進します。	油等の漏出の防止	油等漏洩件数 （件数以下/年）	0件	油漏れ等異常なし。
事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。	事業所利用水の節水	水使用量（L）	78.0	目標は超えてしまったが、節水は継続している。引き続き活動を継続していく。
環境経営方針は全従業員に周知する。	全体会議等で周知します。	社会貢献件数 （件数以上/年）	12件	問題なし。

※ 実績の比率は基準年度比(前年比)。

化学物質の使用はありませんでした。

取組の結果は、次項以降に対比グラフ及び活動状況を記載する。

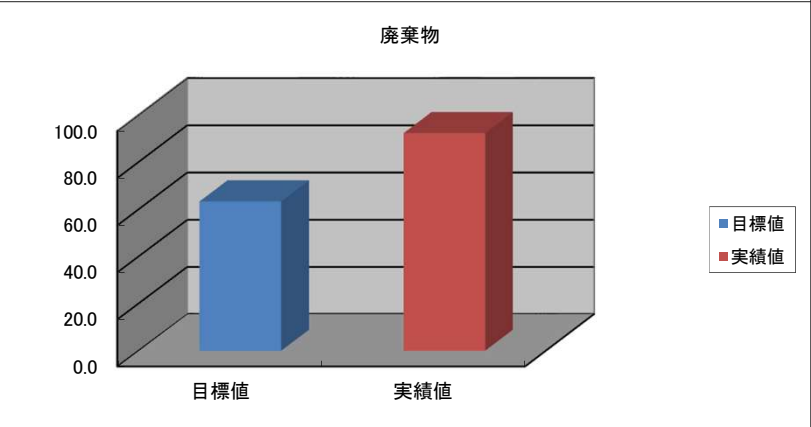
達成度の判定は、◎:成果につながり良くできている。○:取り組まれていて問題はない。△:連続すると問題発生の可能性がある。×:できていない(改善の必要がある)で表わす。



	(kg)
目標値	57070.2
実績値	398.5
前年比	0.7

判定 ◎
評価

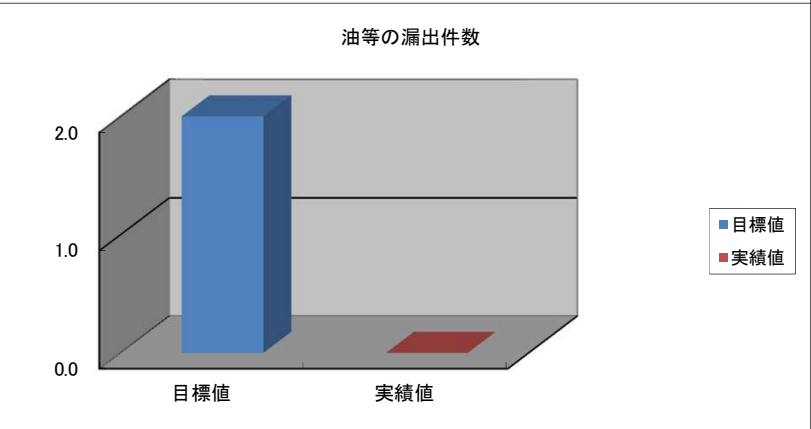
節電には適切に取り組んでいる。太陽光の導入等の成果もあり、電力に由来する二酸化炭素排出量は大きく削減出来ている。化石燃料消費量の増加による二酸化炭素排出削減を検討していく必要がある。



	(%)
目標値	63.4
実績値	92.3
回収量	100%
回収比率	100%
前年比	145.6%
判定	◎

評価

適正に処分しているため問題なし。月別のリサイクル率は算出に手間がかかるため、今回は排出量を表記している。

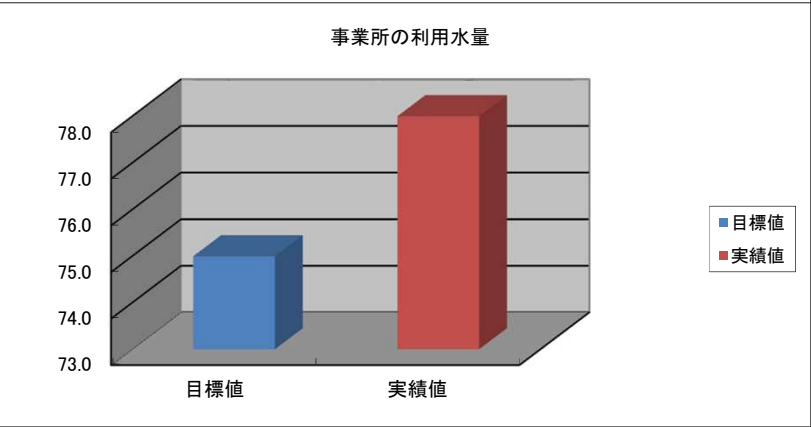


	(件)
目標値	2.0 (件以下)
実績値	0.0

判定 ◎

評価

油漏れ等異常なし。

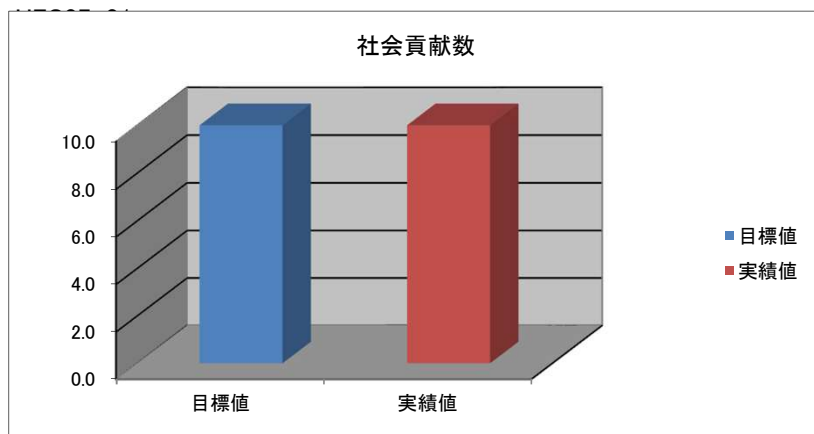


	(L)
目標値	75.0
実績値	78.0
削減量	3.0
削減比率	104%

判定 ×

評価

目標は超えてしまったが、節水は継続している。引き続き活動を継続していく。



	(件)
目標値	10.0 (件以上)
実績値	10.0
増加量	0.0

判定 ○

評価
問題なし。

地 域 貢 献 の 実 施 状 況

令和5年1月23日

松田江駐車場の清掃活動



《説明》

冬季の雪捨て場になっている駐車場の清掃活動を実施しました。

令和5年6月22日

万葉ふ頭周辺の清掃活動



《説明》

伏木港事務所が主催する環境保全向上活動に参加し、万葉ふ頭周辺の清掃を実施しました。

・その他の活動

6月6日 観光協会の要請を受け、松太枝浜キャンプ場の除草及び清掃を実施しました。

7月2日 高岡市が主催する松太枝浜の海開きに合わせ、海岸清掃に参加しました。

その他各現場での社会貢献活動として、除草や清掃を実施。

9, 次年度の取組み内容

改訂日: 2024年4月20日

環境目標設定書

承認	作成
早木	加藤

E A 2 1 コア指標	環境方針	取組項目	中長期の環境目標（2026年度まで）	中長期の環境目標（2025年度まで）	2024年度目標
エネルギーの消費① 化石燃料等の燃焼④ 以上による二酸化炭素排出量の削減	事業所及び建設現場内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油・ガスなどの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。	電力消費量の削減 化石燃料等の消費量の削減	二酸化炭素排出量を基準年度比（前年度比）±3%で継続する。	二酸化炭素排出量を基準年度比（前年度比）±3%で継続する。	二酸化炭素排出量を基準年度比（前年度比）±3%で継続する。
廃棄物の排出⑦	事業所及び建設現場から出る廃棄物を最小限にするため、分別を推進します。	分別及びリサイクルの推進	廃棄物のリサイクル率は90%以上を達成する。	廃棄物のリサイクル率は90%以上を達成する。	廃棄物のリサイクル率は90%以上を達成する。
	建設機械等の自主点検整備を実施し、機械油等の漏出の低減を推進します。	油等の漏出の防止	年次・月例及び日常点検を実施し、油漏出等の問題発生件数を2件/年以下にする。	年次・月例及び日常点検を実施し、油漏出等の問題発生件数を2件/年以下にする。	年次・月例及び日常点検を実施し、油漏出等の問題発生件数を2件/年以下にする。
水の消費③	事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。	事業所利用水の節水	水の使用量を総量当たり基準年比±3%で継続する。	水の使用量を総量当たり基準年比±4%で継続する。	水の使用量を総量当たり基準年比±5%で継続する。
社会貢献	環境活動の社会貢献を推進します。	環境に配慮した社会貢献の推進	社会貢献環境活動を10件/年以上取り組む。	社会貢献環境活動を10件/年以上取り組む。	社会貢献環境活動を10件/年以上取り組む。

10 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

主な適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
リサイクル法	発生抑制、再利用、再生利用、再資源化	遵守
建設リサイクル法	分別解体等、再資源化等の促進、再生資源の使用	遵守
オフロード法	アイドリングストップの励行	遵守
排出ガ対策型建設機械普及促進規程	排出ガス対策型であることの確認	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
作業所で同意するその他の要求事項	時間外作業の抑制、禁止等	遵守
海洋汚染防止法	浚渫前に土砂採取分析及び海上保安部に結果の提出	遵守
水質汚濁防止法	水質基準の測定分析を自主管理	遵守
フロン排出抑制法	建設用機械の定期的な点検	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理

11.【代表者による全体の評価見直し】

13/13

代表者による評価・見直しの記録				検 印	検 印	作 成
見直し実施者	代表取締役社長 早木 康満			康 早 満 木	雅 早 人 木	加 藤
見直し実施日	令和6年4月20日					
確 認 ・ 評 価 し た 資 料						
文 書	確 認	記 録		確 認		
環境方針	✓	環境への負荷の自己チェック		✓		
環境目標	✓	環境への取組の自己チェック		✓		
環境活動計画	✓	環境関連法規制等の順守状況確認		✓		
環境関連法規等のまとめ	✓	外部からの苦情・情報の記録		✓		
実施体制	✓	環境上の緊急事態の訓練記録		✓		
緊急事態対応手順	✓	環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況と結果		✓		
環境活動レポート	✓	不適合是正・予防処置報告書		✓		
取組状況全体の評価						
システムが有効に運用されているか(要求事項を満足しているか)				適	不適	
取組が適切に行われているか				適	不適	
見直しの必要性						
環境方針	あり	なし	実施体制	あり	なし	
環境目標	あり	なし	その他	あり	なし	
環境活動計画	あり	なし				
見直し具体的内容						
環境経営マネジメントシステムを導入して10年を過ぎ、環境経営活動を継続して維持して						
います。						
今年度は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震により地元の伏木地区や氷見地区等						
も大きな被害があり、その緊急対応等では当社も微力ながら協力をしてきました。						
その性質上集計は除外していますが、改めて自然の恐ろしさと大切さを実感したところです。						
次年度は災害関係の廃材が増えることが予想されますが、今後も引き続きP D C Aを継続的						
に回し改善に取り組むことで環境保全の一助になるよう努めます。						